

全建発第17～290号
平成17年12月15日

機関管理者 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第511回建設技術講習会(環境・環境の保全や美しく良好な景観形成-)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員8万5千名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められております。

このたびの第511回建設技術講習会では、公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、循環型社会の形成、快適な生活環境の実現等、環境問題に関わる現状と課題に関する施策の動向、地域における環境問題への具体の取り組み状況、環境に係る手続きや調査・業務委託の実務等最新の情報を得るとともに、景観形成の考え方を学ぶことを目的としております。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬具

全建発第 16 ～ 310 号
平成 17 年 1 月 4 日

(各地方協会長) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 北 橋 建 治
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成 17 年度の講習会参加について (お願い)

本会の建設技術講習会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用、品質確保と発注者責任など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の向上が求められ、職員研修の果たすべき役割は従来にも増して重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成 17 年度の建設技術講習会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に携わる方々にとって、業務に直接役立つ講習内容としており、講師には建設行政や建設技術等の各分野において第一線で活躍の方々を迎えています。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴 木 道 雄



第511回建設技術講習会（環境 ～環境の保全や美しく良好な景観形成～） 開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成18年2月15日（水）～17日（金）、佐賀県佐賀市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、循環型社会の形成、快適な生活環境の実現等、環境問題に関わる現状と課題に関する施策の動向、地域における環境問題への具体の取り組み状況、環境に係る手続きや調査・業務委託の実務等最新の情報を得るとともに、景観形成の考え方を学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は、佐賀県（予定）・佐賀市（予定）の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員..... 8,600 円〔うち昼食代 1,600 円（2 日分）〕
正会員（地元〔佐賀県内〕）..... 3,000 円〔 " 〕
非会員..... 13,600 円〔 " 〕
正会員（地元）とは、佐賀県内に勤務（出先事務所を含む）の正会員
聴講のみの参加は可能です

現 場 研 修 料：..... 7,200 円〔うち昼食代 1,200 円〕
現場研修のみの参加はできません

申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込名義の初めに、開催回数の「511」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成18年1月20日（金）必着（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

平成18年2月3日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成18年2月10日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定された講習会です。（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 511 回建設技術講習会 日程

（ 環境 ～環境の保全や美しく良好な景観形成～ ）

- 公共事業に関して、地球環境問題、自然環境の保全・再生、循環型社会の形成、快適な生活環境の実現等、環境問題に関わる現状と課題に関する施策の動向、地域における環境問題への具体的取り組み状況、環境に係る手続きや調査・業務委託の実務等最新の情報を得るとともに、景観形成の考え方を学ぶ -

会 場..... 佐賀市民会館
〒840-0054 佐賀市水ヶ江 1-2-20 TEL 0952-24-5271

1 日目 平成 1 8 年 2 月 1 5 日（水）				敬称略
10：10 ↓	あいさつ	佐賀県知事	古 川 康	
10：30	”	佐賀市長	秀 島 敏 行	
10：30 ↓	自然と共生するまちづくり	財団法人 日本生態系協会 事務局長	関 健 志	
12：00	～生態系保全と地域づくり～			
13：00 ↓	景観創出のためのデザイン体制	東京大学大学院工学系研究科 教授	篠 原 修	
14：30				
14：40 ↓	【特別講演】	佐賀大学理工学部都市工学科 教授	荒 牧 軍 治	
15：40	『里海』有明海の復活を願って	（佐賀大学有明海総合研究プロジェクト長）		
15：50 ↓	【地域における技術苦労話】	佐賀県県土づくり本部建設・技術課	宮 原 俊治郎	
16：20	「佐賀城本丸歴史館」建設工事について	検査監		
	～日本近代化のさきがけの舞台となった佐賀城～			
16：20 ↓	【地域事業の紹介】	佐賀県県土づくり本部神埼土木事務所	内 山 博 行	
16：40	国道 3 8 5 号（東脊振バイパス）改良事業	工務課長		
17：00	よみがえる「石井樋」	国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所 所長	尾 澤 卓 思	
2 日目 2 月 1 6 日（木）				敬称略
9：50 ↓	港湾環境行政のグリーン化	国土交通省港湾局環境・技術課	繁 本 護	
10：50		環境整備計画室 専門官		
11：00 ↓	景観法の施行について	国土交通省都市・地域整備局都市計画課	舟 久 保 敏	
12：00		景観室 課長補佐		
13：00 ↓	河川環境の整備と保全	国土交通省河川局河川環境課	松 本 幸 司	
14：00		流域治水室 課長補佐		
14：10 ↓	沿道環境の改善・地球環境の保全	国土交通省道路局地方道・環境課	横 田 敏 幸	
15：10	～シーニックバイウェイを中心に～	道路環境調査室 沿道環境専門官		
15：10 ↓	閉会のあいさつ	佐賀県建設技術協会長	緒 方 耕 治	
		（佐賀県県土づくり本部長）		
	地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 2 月 1 7 日（金）				

佐賀城本丸歴史館臨時駐車場(8:50) 集合

- 佐賀県立佐賀城本丸歴史館建設事業
- 石井樋〔石井樋地区歴史的水辺整備事業〕
- 一般国道 3 8 5 号（東脊振バイパス）道路改良事業
- 巨勢川調整池〔佐賀導水事業〕
- 昼食（佐賀市内）
- 吉野ヶ里歴史公園整備事業
- J R 佐賀駅（15:50）解散 / J R 佐賀空港（16:30）解散
- 福岡空港（16:20）解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため、解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第511回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 佐賀県立佐賀城本丸歴史館建設事業 佐賀市城内

この本丸歴史館は、「幕末・維新期の佐賀」を検証し、県民にこの時代の歴史を分かりやすく伝え、新しい郷土の発展の源泉となるような施設を目指して建設された。

本施設は、国内でも施工事例の少ない、伝統工法による大規模木造建築物である。

石工事・木工事・屋根工事・左官工事などの伝統工法については、職人さんが全国的にも少ないため、佐賀県内はもとより、遠くは愛知県・京都府・滋賀県・奈良県等から、多くの方々にご協力いただき施工を行った。

なお、現場で使用する各種の材料は、佐賀県産のものと周辺地域内のものをできるだけ利用している。

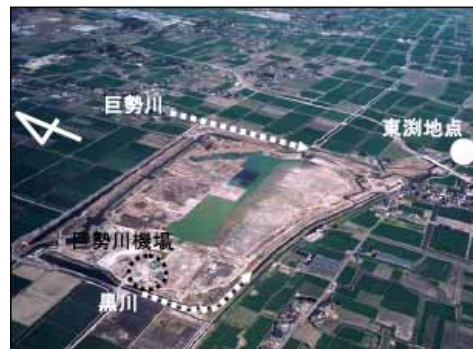


2 巨勢川調整池〔佐賀導水事業〕 佐賀市金立町大字千布地先

佐賀市北部に位置する巨勢川調整池は、佐賀市を流れる巨勢川・黒川の洪水を貯留し、佐賀市街部を洪水被害から守ることを目的とした治水施設である。

本調整池の規模は、東西約 900m、南北平均 600m、面積約 55ha の広大なスペースを有し、周囲堤防の延長は約 2.6km に及ぶものとなっている。

なお、本調整池は、巨勢川・黒川それぞれの洪水調整を行う施設であり、水を調整池に一時的に貯め、調整池に貯まった水は、巨勢川機場内ポンプにより嘉瀬川へ排水を行うしくみとなっている。



3 石井樋〔石井樋地区歴史的水辺整備事業〕 佐賀市大和町地先

石井樋は、江戸時代初期に成富兵庫茂安によりつくられ、近年まで利用されていた導水施設である。

本事業は、石井樋の復元を核として、現在国土交通省、佐賀県、佐賀市及び大和町が一体となって、石井樋地区歴史的水辺整備を行った事業である。

この石井樋地区歴史的水辺整備は、生物の良好な生息環境及び自然の川らしい風景を保全・創出するための水辺整備を行うとともに、成富兵庫茂安の業績をはじめとした、水に係わる歴史や地域の文化・風土を伝える資料を展示し、歴史等を積極的に体験しながら学ぶための施設として、地域交流の拠点となっている。

なお、本事業は平成 5 年皇太子殿下御成婚記念として、全国 9 箇所の内の一つに選定されている。



4 一般国道385号（東脊振バイパス）道路改良事業

一般国道385号の県境付近の山麓部は、脊振山系の急峻な地形であり、幅員が3mと狭小なうえ急カーブの連続で2トン車以上の車両は通行禁止の規制が行われるなど、自動車交通の大きな障害となっている。

このため、佐賀県が昭和50年度から東脊振バイパス事業（L=6.91km）に着手し、昭和63年度に1期区間を供用開始し、2期区間を整備中ではありますが、地形的な制約等から多大な費用と期間を要している。そこで、東脊振バイパスの早期完成を図るため、平成14年度から東脊振バイパスの一部（L=2.15km）に有料道路事業を導入し、公共事業の整備と合わせて、東脊振バイパスの平成17年度完成を目指すものです。

… 佐賀県神埼郡東脊振村大字松隈地先
料金所付近（メタルロード工法）



5 吉野ヶ里歴史公園整備事業

吉野ヶ里歴史公園は、国の特別史跡「吉野ヶ里遺跡」の保存と活用を図るために、国と佐賀県が設置した公園です。この地に佐賀県の工業団地を造る計画が持ち上がり、昭和61年から本格的な文化財の発掘調査が行われました。その結果、我が国弥生時代最大規模の環壕集落であることが確認され、また魏志倭人伝に記された邪馬台国の様子を彷彿とさせる建物跡などが発見されたことにより、一躍全国の注目を集めました。日本の古代の歴史を解き明かす上で極めて貴重な情報を提供してくれることから、平成4年、国営吉野ヶ里歴史公園として整備することが閣議決定され、さらに国営公園区域の周辺に佐賀県の公園区域を設け、国と県が一体となった歴史公園として、平成13年4月からその一部が開園しています。

佐賀県神埼郡神埼町・三田川町・東脊振村



第 511 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料金：宿泊希望者には佐賀市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
 宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
 送金先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114
 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル 6F）
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「511」を付け加えて下さい。
 問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部日本橋支店 Tel 03(3272)2411 Fax 03(3272)3169
 「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 18 年 2 月 3 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 18 年 2 月 10 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 18 年 2 月 14 日（火）・15 日（水）・16 日（木）（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

宿 舎 名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
佐賀ワシントンホテルプラザ	佐賀市駅前中央 1-164 TEL: 0952-25-1111	シングル	140 名	8,200 円

宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。
 朝食不要とすることもできます。

会場・宿舎案内図



第 511 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意下さい。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A ～ F を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行(株)宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 「全建担当デスク」

TEL03(3272)2411 FAX03(3272)3169

【往路】2月14日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	東 京（羽田）→ 佐 賀 15:50 17:50	A N A（全日空） 4 5 3	50 席	16,000 円
B	名古屋（中部）→ 福 岡 16:00 17:25	J A L（日本航空） 3 2 1 7	20 席	12,000 円
C	大 阪（伊丹）→ 佐 賀 14:45 16:10	A N A（全日空） 1 6 5 5	20 席	12,000 円

【復路】2月17日（金）現場研修終了後の便

記号	搭 乗 区 間	便 名	幹旋席数	片道航空代金
D	福 岡 → 東 京（羽田） 17:10 18:35	J A L（日本航空） 1 7 2 6	50 席	16,000 円
E	福 岡 → 名古屋（中部） 17:35 18:45	J A L（日本航空） 3 2 2 4	20 席	12,000 円
F	福 岡 → 大 阪（伊丹） 17:50 18:55	A N A（全日空） 4 2 8	20 席	11,000 円

- ・上記代金には、航空保険特別料金（1 区間 300 円）、旅客施設使用料（羽田空港 100 円/中部国際空港 200 円）が含まれております。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡しします。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
又、東京（羽田）で航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、60 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機に時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）

記号	搭 乗 区 間	1/31～2/3 に取消した場合	2/3～2/10 に取消した場合	2/11 以降便出発ま でに取消した場合
A, B D, E	東 京（羽田）→ 佐 賀 名古屋（中部）← 福 岡 福 岡 → 東京（羽田）	3,000 円	6,000 円	9,000 円
C, F	大 阪（伊丹）→ 佐 賀 福 岡 → 大阪（伊丹）	2,000 円	4,000 円	6,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

協会名 _____ 印 _____
 (特別・賛助会員名)

第511回建設技術講習会(環境)申込書

<個人情報取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参 加 者			勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現 場 研 修	宿泊申込			航空便申込		
(フリガナ) 氏 名 (女性の場合は番号に○囲みにして下さい)		年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日に○印を 記入して下さい	往路	復路	A～F を記入		
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
聴講料						↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません		宿泊予約金					
正会員・特別会員・賛助会員				名 × 8,600円 =				円		泊 × 4,000円			円
〃 (昼食不要)				名 × 7,000円 =				円					
正会員(地元〔佐賀県内〕)				名 × 3,000円 =				円					
〃 (昼食不要)				名 × 1,400円 =				円					
正会員(地元)とは、佐賀県内に勤務地(出先事務所を含む)がある正会員								航空便					
非 会 員				名 × 13,600円 =		円		往路		名 ×	円		
〃 (昼食不要)				名 × 12,000円 =		円		復路		名 ×	円		
現場研修料				名 × 7,200円 =		円							
計						円		計					円

↓ 全建に振込

↓ 西鉄旅行(株)に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、
「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。 なお、この場合、原本の郵送は不要です。 全建FAX 03-3586-6640

〔聴講時の昼食について〕

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。